



取扱説明書

品番 JTC5120MJ
品番 JTC5120MAIR

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。

本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

危険

設置場所の注意：プレスが転倒したり、地面の沈み込みの恐れがある軟弱な地面、凸凹の地面、傾斜のある地面等には設置しないでください。転倒や加工部品の落下等で重傷、死亡事故の原因となります。

作業者の注意：作業される方は必ず御使用前に取扱い説明書を熟知し本製品の使用方法をよく理解してください。さらに各部の操作に慣れ、圧力の調整作業をゆっくりと慎重に行える方が作業してください。不慣れな方は重傷、死亡の事故の原因となります。

本体の分解、修理、改造はしないでください。

警告

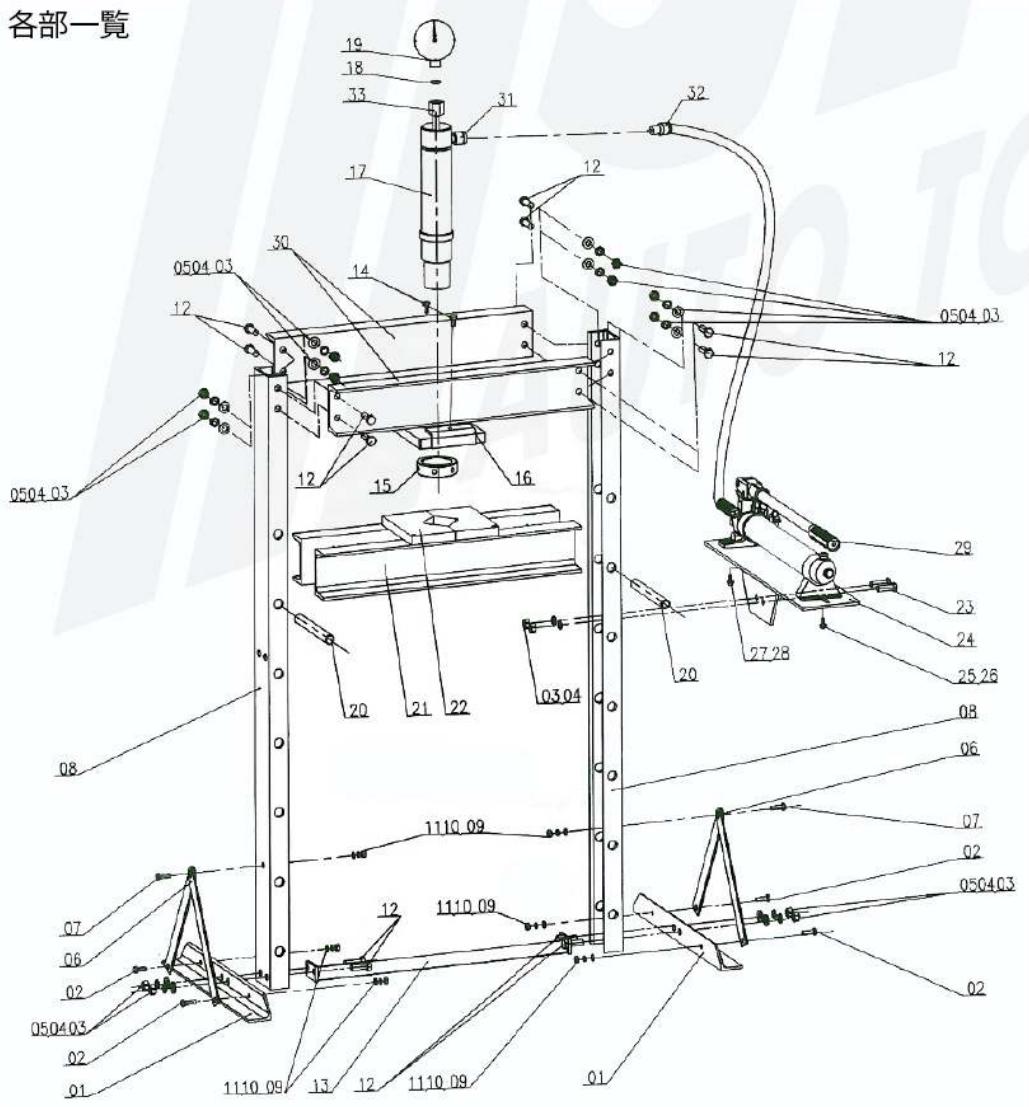
- ・本製品は、加工部品の分解・圧入・成形などの整備、加工作業することを目的として作られています。
- ・本来の用途以外で使用すると、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- ・使用前や定期的に、損傷・破損、作動不良、異音、油圧オイルの漏れなどの異常がないか点検してください。
- ・使用中、損傷・破損、作動不良、異音、オイル漏れなどがある場合は、ただちに使用を中止してください。
- ・異常がある場合、お買い求めの販売店までお問い合わせください。
- ・油圧ホースを無理に曲げたり、縛ったり、物を載せた状態で使用しないでください。
- ・作業中、作業手順や周辺の状況への安全確認を怠らないようにし、事故に注意してください。
- ・使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
- ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- ・直射日光、暖房器具や温度上昇する機器の側で使用しないでください。
- ・本製品は、屋内専用です。屋外での使用は止めてください。
- ・屋外での使用は、本体故障、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・能力を超える使用はしないでください。破損及びケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・設置場所の作業環境温度は0°C～40°C以内です。
0°C以下はオイルが硬くなり作動不良の原因となります。
- ・設置場所はチリやホコリが多くある場所に設置しないでください。シリンダーやポンプにゴミが付着するとオイル漏れの原因となります。
- ・水気のある場所、水が掛かるような場所に設置しないでください。



警 告

- ・加工部品の分解や圧入などは、サービスマニュアルや加工部品の取扱説明書に従ってください。
- ・加圧中に作業を中断するときは、必ず圧力を抜いてください。
加圧した状態で放置することは、予期せぬ事態を招き、本体故障、損傷・破損、加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・加圧中は、揺すったり、衝撃を与えるなどしないでください。加工部品が落下・飛散等、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・分解や圧入時に生じた不具合や、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対して、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- ・圧力をかけるときは、加工部品に対して垂直方向に真っ直ぐ、中心に圧力を掛けてください。
斜め方向や、中心から外れた位置で圧力を掛けないでください。誤った状態で圧力をかけると、加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・ベアリングやブッシュなどの加工部品は、圧力が掛かっている状態から取り外されると急に圧力が抜けて加工部品が落下・飛散し、ケガや事故の恐れがあるので取扱いに十分注意してください。
- ・リリースバルブを緩める時はゆっくり慎重に操作し、急な操作はしないでください。
加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・点検、保管する場合は必ずポンプ及びシリンダーの圧力を開放して無負荷状態にしてください。

各部一覧



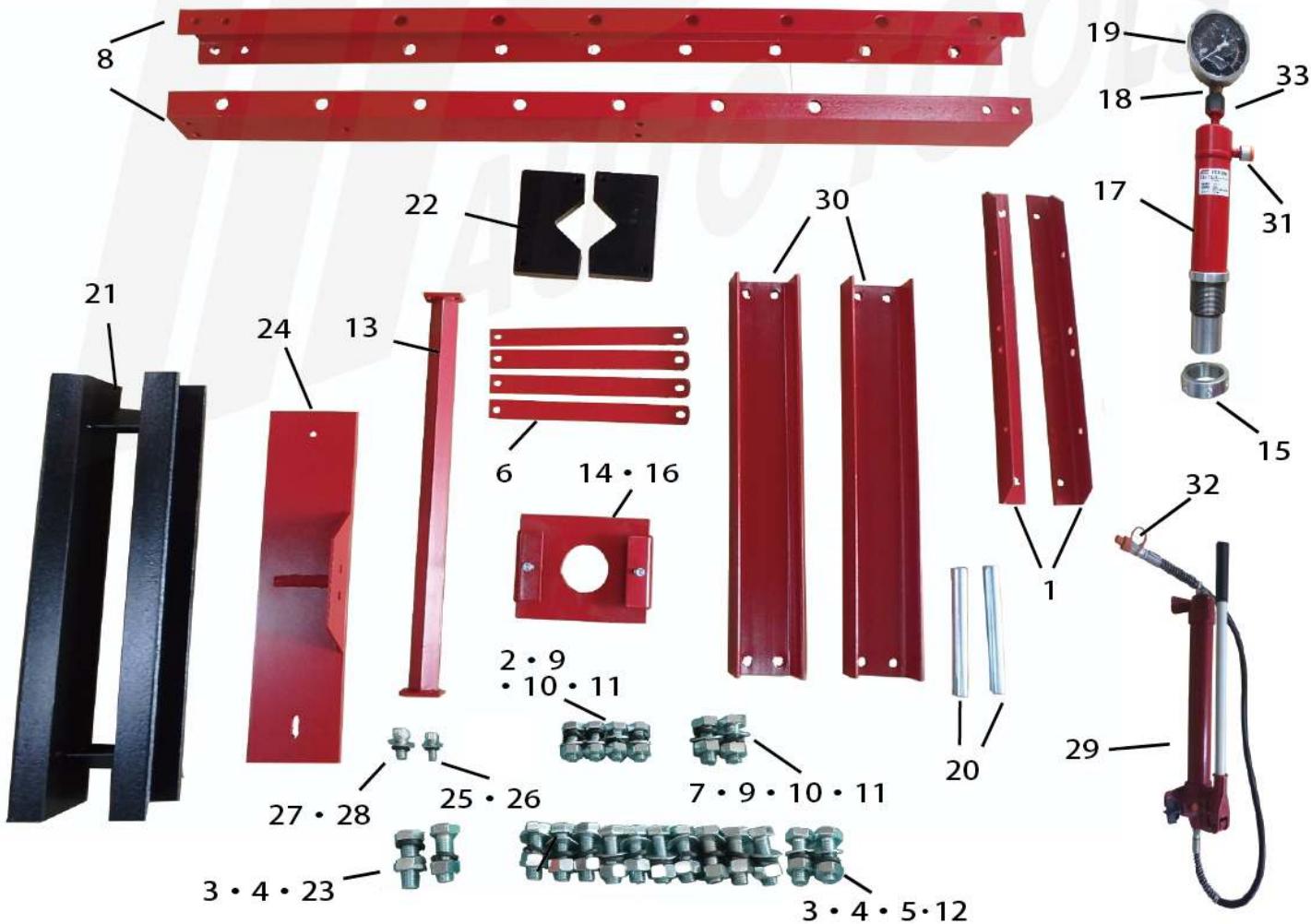
最大荷重：12t (JTC5120MJ)
最大荷重：10t (JTC5120MAIR)
ストローク：175mm
幅：695mm
奥行：500mm
本体重量：78 kg
プレート 2 枚付き
ラム先端直径：53mm

パーツリスト

NO.	品名	入数
1	レッグ	2
2	ボルト M10×25	4
3	ナット M12	14
4	スプリングワッシャー M12用	14
5	ワッシャー M12用	12
6	ベースサポート	4
7	ボルト M10×30	2
8	ポスト	2
9	ナット M10	6
10	スプリングワッシャー M10用	6
11	ワッシャー M10用	6
12	ボルト M12×35	12
13	ロアサポート	1
14	ボルト M8×16	2
15	リングナット	1
16	シリンダー固定プレート	1

NO.	品名	入数
17	シリンダー	1
18	パッキン	1
19	メーター	1
20	サポートピン	2
21	作業台	1
22	作業プレート	2
23	ボルト M12×30	2
24	ポンプ用台座	1
25	ボルト M6×16	1
26	ワッシャー M6用	1
27	ボルト M8×16	1
28	ワッシャー M8用	1
29	油圧ポンプ	1
30	アッパーフレーム	2
31	コネクターナット	1
32	油圧ホース	1
33	ゲージコネクターナット	1

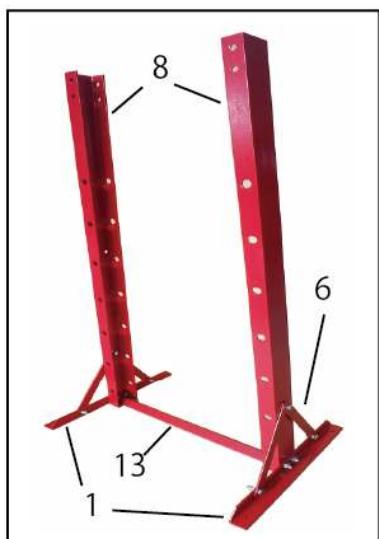
※JTC5120MAIR には、24・29・32 は付属していません。



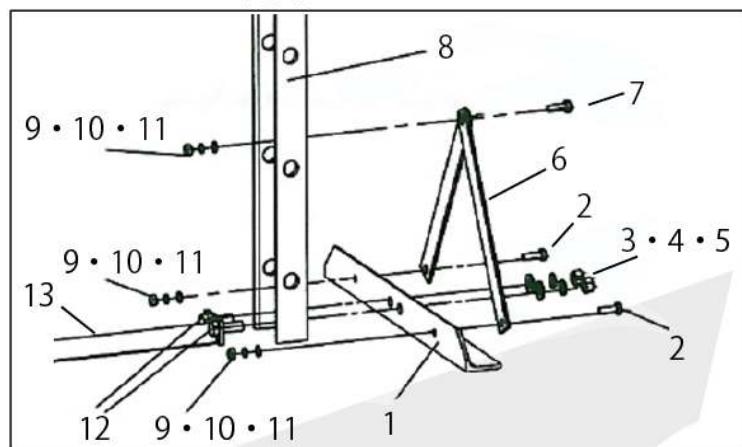
組立て方法

1 ※組立て前にシリンダーとポンプのエアー抜きを行ってください。

1番と8番を13番で連結させ6番を取り付けます。各ボルトを仮締めします。



使用ボルトナット

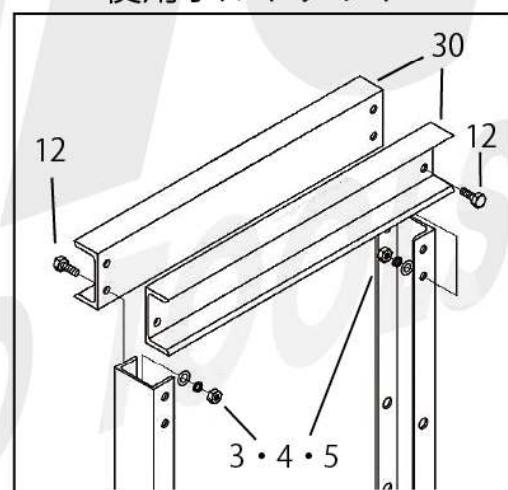


2 30番を8番の上部に取り付けます。その時に16番も一緒に組み付けます。

各部が垂直で水平になるように調節して①の時に仮締めしたボルトも含め全て本締めします。

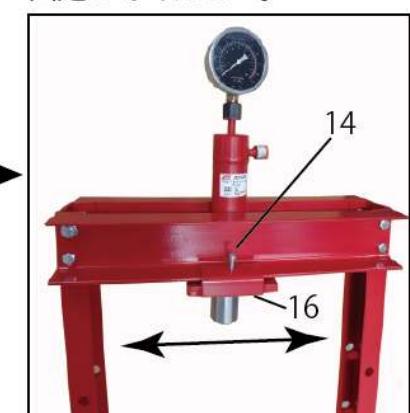
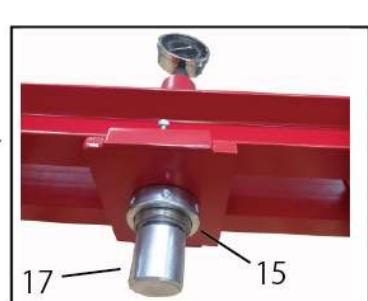
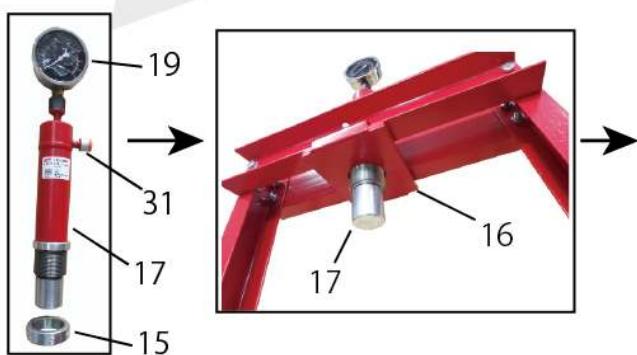


使用ボルトナット



3 17番のシリンダーの15番リングナットを取外して16番の穴に差込み19番が正面側31番を右側の位置にして15番で固定します。

シリンダーを中心の位置になるように16番を調整して14番を6mmの6角レンチで固定してください。



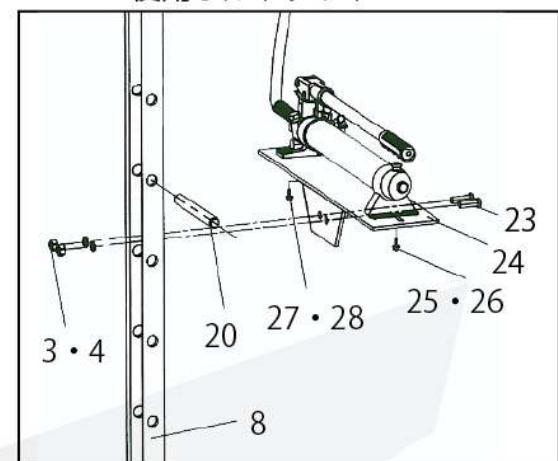
4

24 番を 8 番に取り付けます。

29 番を 24 番の上に乗せて固定してください。

29 番にハンドルを右回しで取り付けます。

使用ボルトナット

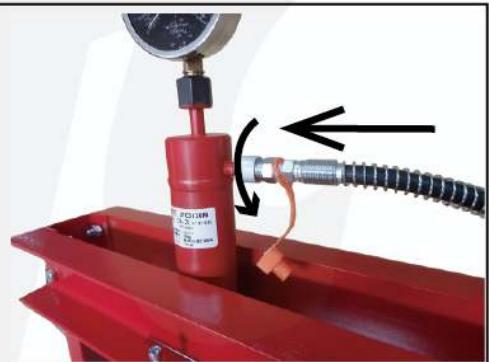


17 番のシリンダーの 31 番に

ポンプからの油圧ホース

32 番を接続します。

先端を奥まで差込んでナットを
締め込んでください。



5

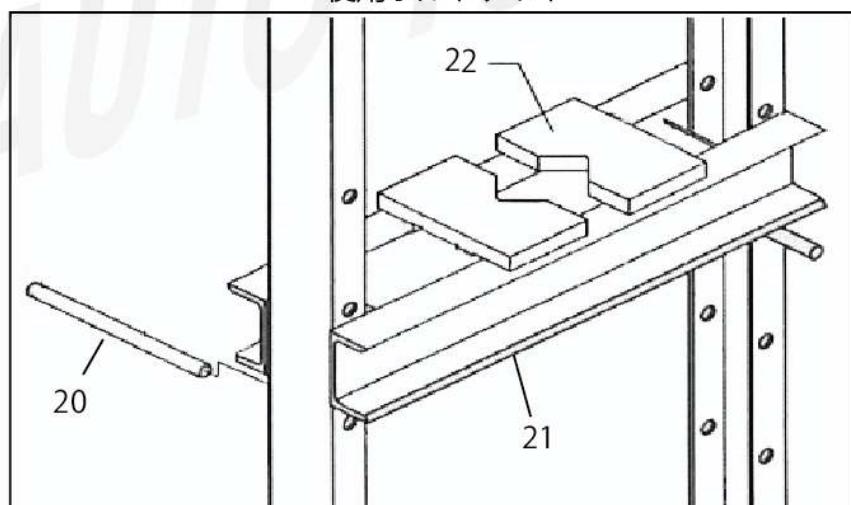
20 番を 8 番の左右水平な穴に差込みます。

21 番を 20 番に均等に乗るように調整して設置してください。

20 番が出すぎたり引っ込み過ぎたりしないようにしてください。

21 番の上に 22 番を置きます。

使用ボルトナット



※組立て完了後全てのボルトナットが締まっている事を確認して下さい。
各部の点検を行い本体のグラつき、ガタが無い事を確認してください。
29 番のポンプのエアー抜きを行ってからポンプを作動させオイル漏れの
有無を確認してください。

17 番のシリンダーが正常に作動するか確認してください。

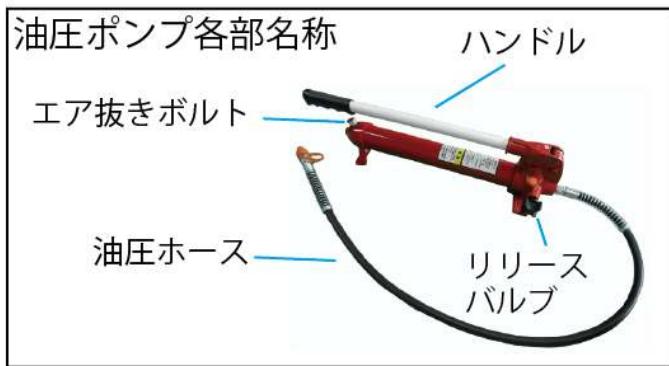


油圧ポンプのエアー抜きの方法 及びオイル量に付きまして

※JTC5120MJの場合

- ・初めて使用する時、シリンダーが正常に作動しない時はエアー抜きを行ってください。
- ・エアー抜きをする時はポンプとシリンダーはプレスから取外して行ってください。

油圧ポンプのエアー抜きの方法



1. 油圧ポンプをシリンダーより高い位置に設置します。

シリンダーの伸びるロッド部分を下向きに、ホース接続部分を上向きにします。(図1)

図2のエア抜きボルトをゆっくりと緩めてエアーを排出してください。(図2)

注意：この時にエアーとオイルが一緒に出る場合があります。

ウエスでボルトを覆いながら作業してください。

ポンプを使用する時は毎回エア抜きボルトを少し緩めてご使用ください。

使用後、使用しない時はボルトを締めてください。

ポンプのリリースバルブを右に一杯に回して、ポンピングさせシリンダーを一杯まで伸ばしてください。
(オイル漏れがない事を確認してください。)

※シリンダーの伸びは1回のポンピングで2mm程度です。縮む速度はとてもゆっくりです。

シリンダーは全て収縮しません。5cm程度突出した状態となります。

2. ポンプのリリースバルブを左に回しシリンダーを縮めます。

上記作業を2~3回繰り返してエアー抜きをしてください。

※エアーが抜けない時はオイル量を確認してください。

正常に作動しないときはお買い求めの販売店又は弊社へお問い合わせください。

メンテナンス

※1年に1回、油圧ポンプのオイル交換をしてください。

使用オイル：作動油 ISO VG32

オイル量：約500ml

1. 油圧ポンプの油圧バルブを反時計回りに回します。
2. エア抜きボルトを取り外して、廃油受け等に排出します。(図5)
3. 新しいオイルをエア抜きボルトの穴より補充します。

エア抜きボルトを締めてエアー抜きをしてください。



メータ一換算表

ton	1	2	4	6	8	10	12	14	16
MPa	4.9	9.9	19.9	29.9	39.9	49.9	59.8	69.8	79.8

